

プロレスでまちの人々を元気に！紀州ぶんだらプロレス～NPO 法人ドリームクリエイター～

和歌山ならではのコスチュームを身にまとい、華麗な技を繰り出す選手たち……。和歌山を中心に活動するプロレス団体「紀州ぶんだらプロレス」の試合のひとコマです。まちなかでのイベントや福祉施設への訪問を通して、和歌山の人々を元気にしようと 2016 年 3 月に結成されました。今回はプロレスでのまちおこしに挑む、「紀州ぶんだらプロレス」をご紹介します。運営団体の NPO 法人ドリームクリエイター代表の米谷克己さんにうかがいました。

地元密着型のプロレス 団体をめざして



5 月に県立体育館で行われた試合の様子。華麗な技を決める真田丸（左）

「紀州ぶんだらプロレス」に所属している選手は現在 5 名。年齢は 20 代から 40 代と様々で、彼らは平日に仕事をこなすかわら試合をおこなっています。まだ立ち上がりつつも、ない団体ということもあり、現在は大阪や三重、北海道など全国の団体を巡っている選手が多いそう。なかには大阪プロレスで活躍していた選手もいるそうです。昨年の大河ドラマで話題となった「真田丸」のような個性的なコスチュームやパフォーマンスで観客を楽しませます。活動は主にまちなかのイベントや福祉施設への訪問が中心。イベント開催を通して企業や施設などとの連携・協働を目指すために NPO の法人格を取得。現在は NPO 法人が「紀州ぶんだらプロレス」を管理するという形で運営を行っています。試合のモットーは「選手の一生懸命さを魅せること」。もちろん

「好き」という気持ちの人が動かす。米谷さんはもともとプロレスが好きで、大阪で活動するプロレス団体に携わっていた。子どもが参加できるイベントにはストレッチャや体操を盛り込むな



今月、和歌山 MIO で開催された試合の様子から。「スカルフリーダム」の選手入場



サラリーマンの風貌をしたグレードサラリーマン（左）が互角の戦いをみせる

ど、選手とお客さんが一緒に楽しめる工夫も欠かせません。平日は仕事で忙しい彼らですが「プロレスが好き」という共通の想いのもと、プロレスの楽しさを伝えていきます。現在課題となっているのは、地元和歌山に住む選手の育成です。所属している選手たちは和歌山出身の人もいますが、他県に在住しているケースが多いため、地元での試合に参加できないということも。地元で根付いた活動ができる選手を増やしていくため、現在練習生を募集しています。今後様々なところと連携し、プロレスイベントを開催していきたいとのこと。みなさんも一度まちなかでプロレスの迫力を直接感じてみてはいかがでしょうか。（K・K）

NPO 法人ドリームクリエイター
Facebook ページ：「紀州ぶんだらプロレス」で検索
◎10月22日「第14回リビングフェスタ 2017 in 和歌山マリーナシティ」にて試合とちびっこプロレス教室を開催！
◎練習生・イベントを手伝ってくれるボランティアも募集しています。

SDGs 国連・持続可能な開発目標を知ろう ⑭

【目標 12 持続可能な生産消費形態を確保する】
目標 12 に掲げているのは、様々な物資の生産と消費についてです。農林水産業・工業双方に関わる事柄となっています。

2030 年までの目標として、①持続可能な消費と生産に関する 10 年計画枠組み（10YFP）を、先進国主導のもとすべての国で進める、②天然資源の持続可能な管理と効率的な利用の達成、③世界全体の 1 人あたりの食料廃棄を半減するとともに、生産やサプライチェーンにおける食品ロスを減少する、④2020 年までに製品のライフサイクルにおける化学物質や廃棄物の適正な管理を実施する、⑤廃棄物の発生防止や再利用などにより、廃棄物を大幅に削減する、⑥特に大企業や多国籍企業を対象に、持

続可能性に関する情報の発信を推奨する、⑦持続可能な公共調達を促進する、⑧世界中の人々が持続可能な開発や自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つ、の 8 点を挙げています。

必要なこととして、⑨開発途上国に対して持続可能な消費・生産形態促進のための科学的・技術的支援を行う、⑩雇用の創出や地方の文化振興・製品の販促につながる持続可能な観光業に対して、持続可能な開発が及ぼす影響を測定する方策を開発する、⑪破壊的な消費を推奨する化石燃料に対する非効率な補助金を合理化する、の 3 点が挙げられています。

「持続可能な消費と生産（SCP）に関する 10 年計画枠組み」（10YFP）とは、2012 年にブラジル・リオデジャネイロで開催された「リオ +20」で採択されたもの。①SCP への移行を目指す地域や国の政策支援、②途上国への資金、技術等の提供、③知識・経験・ツール等の共有とパートナーシップの促進、という 3 つの目的を掲げており、それを実行するために「持続可能な公共調達」「消費者情報」「持続可能な観光・エコツーリズム」「持続可能な

ライフスタイル及び教育」「持続可能な建築・建設」「持続可能な食糧システム」の 6 つのプログラムが組み込まれています。なお日本は「持続可能なライフスタイル及び教育」に積極的に関与することとなっています。

目標 12 に関してはこの 10YFP がベースとなっている部分が大きく、消費と生産活動を持続可能なものにするための工夫を全世界で進めていこうという思惑がみえます。

いっけんわかりにくい⑩についてですが、国民が燃料を安く調達できるようにするために、エネルギー供給に対する「化石燃料補助金」を支出する国が 30 ほどあります。補助金の額はエネルギー価格に左右されますが、世界銀行が 2012 年に発表した報告書では総額で年間 80 兆円にのぼるといいます。安く燃料を購入できる一方、有限の資源である化石燃料の浪費や CO2 増加につながることで、クリーンエネルギーの導入を阻害すること、各国の財政を圧迫している、などの批判があります。補助金制度を見直すことで化石燃料の使用を大幅に減らせるのではないかと期待されています。



みんなでつくる情報板 わかやまイベントボード

- 講演会『希望のエネルギー資源メタンハイドレート』
新エネルギー資源「メタンハイドレート」は和歌山県沖に豊富に存在するとされています。その魅力について幅広く学び理解を深めます。
日時 9月3日(日) 10:00～11:30
場所 和歌山県 JA ビル 2 階・和ホール
講師 青山千春さん(東京海洋大学准教授)
参加費 無料
定員 200名(申し込み必要)
申込み 和歌山工業高等専門学校(メール kouza@wakayama-nct.ac.jp)に氏名・ふりがな、年齢・所属(学生の場合は学校名と学年)、住所・電話番号を記載し、件名を「メタンハイドレート講演会参加希望」として送信ください。
- 世界遺産セミナー「高野参詣道ー世界遺産となった黒河道」
世界遺産に追加登録された黒河道に関する講座です。
日程 9月3日(日) 13:00～15:00
場所 橋本市文化会館 3F 第一研修室
講師 大岡康之さん(橋本市教
- 育委員会参事) 定員 40名 参加費 無料(申し込み必要) 問い合わせ・申し込み 和歌山県世界遺産センター (0735-42-1044)
- キャンドルライトイルミネーション in あらぎ島
竹灯籠 1700 本があらぎ島を彩ります。
日程 9月6日(水) 18:30～21:00
場所 あらぎ島(有田川町)
参加費 無料
問い合わせ 清水行政局産業振興室 (0737-52-2111)
- あなたもデビュー♪ THE 男うた!
懐かしの楽曲をみなさんと楽しみませんか。
日程 9月9日(土) 13:00～15:00
場所 和歌山市あいあいセンター
対象 男性 50名(申し込み必要)
参加費 無料
問い合わせ・申込み 和歌山市男女共生推進課(073-432-4704)